

トピックコース(定員 50 名)

今後、労働人口の減少が予想されており、医療・介護業界もその影響を受けると予想されています。限られた人材で、より質の高いサービスと安全性を提供するためにもロボットの活用が必要となってきています。

本研修では、リハ・介護ロボットって？ロボットを導入したら何がかわるのか？導入するにはどうすればいいのか？導入した後、どう活用していけばいいのか？それらの疑問を解消し、今後自身の職場でどう活かせるか、その中で自身が果たす役割を考える機会とします。

【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
令和3年 11月22日(月) 18:00~20:00 (受付 17:30~)	『リハビリテーション・介護分野のロボット導入と活用の実際』	
	「ロボットの活用と導入前後について」	株式会社 シーエフロボタス NPO ロボットビジネス支援機構 (RobiZy) アドバイザー (理学療法士) 逢坂 大輔 氏
	「滋賀県のロボット普及、介護ロボット導入支援制度について」	滋賀県医療福祉推進課 介護・福祉人材確保係
	「ロボット活用事例紹介」 (導入機器：ウェルウォーク ww-2000)	済生会守山市民病院 リハビリテーション技術科 理学療法士 高原 誠 氏
	「ロボット活用事例紹介」 (導入機器：HugT1-02、眠りスキャン、 Dfree)	特別養護老人ホーム ゆいの里

対象者 : 医療、保健、介護、福祉、行政などに携わる方、リハ・介護ロボットに関心のある方

締め切り : 令和3年11月12日(金)まで

申し込み : 下記の受付フォーム (URL、QRコード) よりお願いします。

申し込みをされた方に、Web会議(zoom)のミーティングID・パスワード等をメールでお伝えします。

QRコード

URL : <https://forms.gle/cNkBUmD6XvDL4phJ6>



※日本作業療法士協会生涯教育制度 (1ポイント)

担当：奥村